

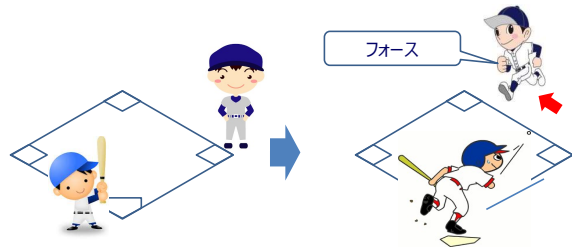
これはおぼえておこう！！

フォースの状態（じょうたい）とフォースプレー

【ランナーがおし出されるとフォースプレーでアウトにできる】

▼塁（るい）をあけわたさなければならないじょうたいが「フォース」

バッターが打ち、1塁へ走るとき、すでに1塁にランナーがいるとき、ランナーは打った人に塁をあけわたさなくてはけません。このじょうたいを「フォース」と言います。ランナー1塁、1・2塁、1・3塁、満塁（まんるい）の4つがこれにあてはまります。



▼フォースプレーは体の一部がベースにふれればよい。フォースじょうたいのランナーをアウトにするには、ランナーの体にタッチするひつようはなく、ランナーが向かってくる塁にタッチすればOK。ボールをしっかりとつかんで、体のどこで塁にタッチしてもかまいません。



フォースプレー

これを「フォースプレー」と言います。ダブルプレーのとき、セカンド塁上で野手（やしゅ）が見せるプレーがそれです。フォースアウトにできなかったランナーがオーバーランをしてもどってきたらあいは、タッチプレーでアウトにしなければなりません。



タッチプレー

タッチプレーは、ボールかボールをつかんだグラブでランナーの体にふれるひつようがあります。

ボールインプレーとボールデッド

【審判員（しんぱんいん）が「タイム」と言ったらボールデッド】

▼ボールデッドになるとプレーはすすまない。ボールが「インプレー」（ライブ）か「デッド」かを見きわめることは、プレー上とても大事なことです。後攻（こうこう）チームが守備（しゅび）につき、先攻（せんこう）チームの1番バッターがバッターボックスに入ったとき、球審（きゅうしん）が言って試合が始まります。このしゅんかん、インプレーとなります。

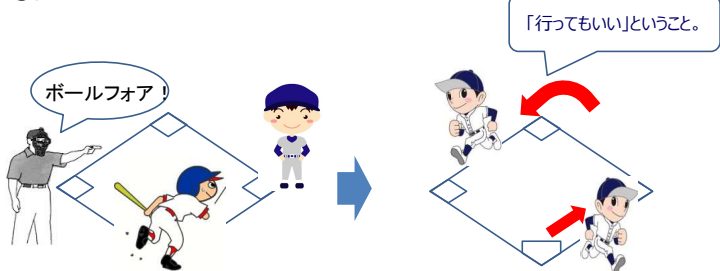


ボールデッドになるのは、審判員がタイムを言ったときです。つぎに「プレー」が言われるまで、プレーはすすみません。ボールデッドになるばあいは右のとおりです。

- ①ファウルボール
- ②デッドボール
- ③ボーク
- ④反則打球（はんそくだきゅう）
- ⑤守備妨害、走塁妨害（しゅびぼうがい、そうるいぼうがい）
- ⑥ボールがマスクなどに挟まったとき
- ⑦アンパイヤーインターフェア
- ⑧投球がホームスチールをしたランナーにふれたとき

▼フォアボールはインプレー

デッドボール（死球）はボールデッドになりますが、フォアボール（四球）はインプレーです。よって、打ったランナーはひとつよりおおくの塁をすすんでもかまいません。キャッチャーはパスボールなどに注意（ちゅうい）するひつようがあります。



振り上げ

【バットを振らなくても振り上げはできる】

3つめのストライクを言われたとき、キャッチャーが正しくボールをとれば三振（さんしん）でアウトとなりますが、次のときはすぐにアウトとはなりません。

①キャッチャーがとる前にボールが地面にふれたとき（ワンバウンド投球を空振りしたときなど）

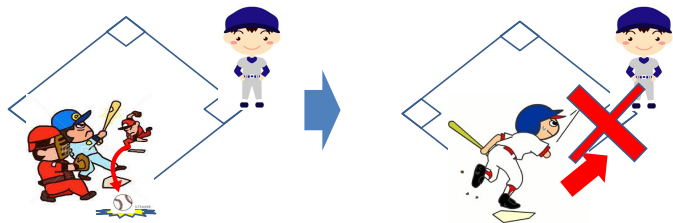
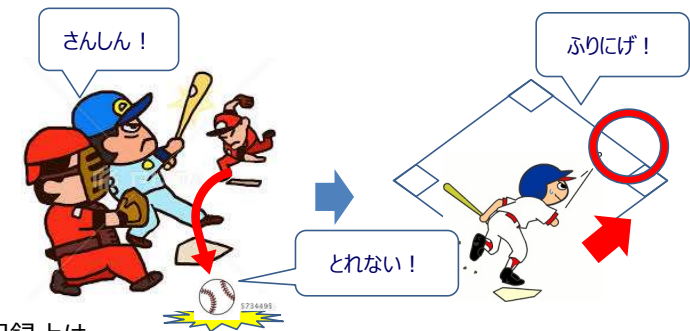
②キャッチャーがとれなかったとき（ワイルドピッチ、パスボール、ボールをおとした、など）

これが、いわゆる「振り上げ」ができるケースです。**見のがしのストライクでもキャッチャーがとれなければ、振り上げができます。**

このケースでは、バッターは3つめのストライクを言われますが（記録上は三振）、バッターは1塁へ走ることができます。守備側がこれをアウトにするためには、バッターが1塁へつく前に、体か1塁ベースにタッチしなければなりません。

▼ノーアウト・1アウトランナー1塁で振り上げはできない

ただし、**ノーアウトまたはワンアウトでランナーが1塁にいる場合は**、このルールはできず、3つめのストライクを言われたらバッターはアウトとなります。



走塁の順序（じゅんじょ）

【塁の占有権（せんゆうけん）と走塁のじゅんじょ】

「1つの塁にいられるランナー」はどんなときも一人だけです。二人のランナーが1つの塁にいるときにどちらのランナーが塁にいてよいかは「後ろのランナー」によってまっています。

【かいせつ】

同じ塁に二人のランナーがふれているとき、塁にいてよいのは「前のランナー（よりホームベースに近いランナー）」であるときめられています。ですから同じ塁に二人がふれているときの、野手が二人ともにタッチした時に**アウトになるのは「後ろのランナー」**だけです。

でも、バッターがランナーになって一塁へ行くときはちがいます。

ランナーは「後ろから、塁に行かなければならないランナー」がやって来たときには、その塁からどかなければならないという決まりがあります。なので、一塁ランナーはバッターがランナーになった時にはつぎの塁にいかねばなりません。

この事は二塁ランナー・三塁ランナーについても同じで、後ろからやって来たのが「塁に行かなければならないランナー」のときは塁にいたことができません。

このときは、同じ塁にいる二人ともにタッチすれば**アウトになるのは「前のランナー」**の方です。

